

# 新たな年の幕開けです

昨年、市制施行40周年という節目の年を迎え、「We love はとがや」を胸にさまざまな記念事業を、市民の皆様とともに行ってまいりました。

また記念事業以外にもさまざまなニュースがありました。皆さんはどのような事が印象に残っていますか。

市誕生40年で築かれたことを礎に、新たな年が皆様にとって明るく希望あふれる年になりますように、市は市民の皆様との協働により、新たなステップを築いてまいります。

記念式典



40

【3月】

記念式典で、記念事業を紹介。ここから節目の年が始まりました。

祭

【9月】 SR記念列車の運行



「縁JOY!はとがやフェスタ」開催日にSR記念列車が運行されました。

まつりの同時開催

敬



敬老会 【9月】

特別展 【10月】



6万人市民

【4月】

人



転入や出生の届出をされた方に、歓迎の意を込めた記念バッチを配布しました。

歴

体

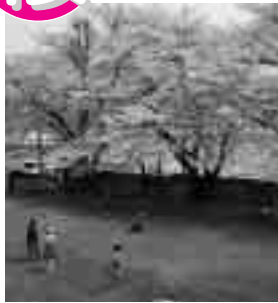


市民体育祭 【10月】

桜

水道部敷地内の桜を初めて一般に公開

桜の公開 【3月】



12月

40周年記念事業「文化財展示会」開催

11月

J A 鳩ヶ谷・J A 川口市の合併調印、し尿処理広域化事業受け入れについて地元との基本的な合意がなされる、鳩ヶ谷駅東西口にイルミネーション点灯

10月

本町放課後児童クラブの移設、市に青色回転灯付防犯車が寄付

9月

防犯のまちづくりに関する協定書の締結

8月

市民プール入場者数が250万人を達成、合併推進市民の会の設立

7月

福祉の店の愛称が「ひだまりポッポ」に決定

6月

40周年記念事業「市民音楽祭」の開催

5月

南小学校で「まなびつ子クラブ」開設、市長タウンミーティング開始、市役所内に福祉の店オープン

4月

使用料のコンビニ収納開始、地域包括支援センター開設、南鳩ヶ谷駅東口駅前広場開設

記念事業以外にも、記録に残る出来事がたくさんありました。

昨年の  
主な出来事



新年明けましておめでとう  
ございます。  
市民の皆様にはご家族お揃  
いでおだやかな新春をお迎え  
のこととお喜び申し上げます。  
また平素より鳩ヶ谷市議会  
に対し暖かいご理解とご支援  
を賜り議会を代表して厚くお



新年明けましておめでとう  
ございます。市民の皆様には、  
平成20年の輝かしい新年をご  
家族ともどもつつがなくお迎え  
のこととお喜び申し上げます。  
昨年鳩ヶ谷市は、市制施行  
40周年、そして人口が6万人  
を突破するなど節目の年であ

# 新年のいあいさつ

## 市民協働のまちづくりを

市長 木下達則

りました。大勢の市民の皆様  
様々な記念行事にご参加いた  
だきました。改めて鳩ヶ谷  
の素晴らしさや豊かな発展の  
可能性を認識したところです。  
本年はこう  
した市民の  
方々の強い  
「絆」を礎とい  
たしまして、市  
民の皆様と協働するまちの実  
現に向け、また市政の進展の  
ため、より一層の努力を重ね  
てまいります。  
鳩ヶ谷市は、地下鉄開通後

新しい、そして若い世代の市  
民の方々が増えております。  
都心と直結する交通網が整備  
され、地域の利便性は飛躍的  
に高まりましたが、一方では、  
社会に対応するための次世代  
育成施策や高齢者へのきめ細  
かい生活福祉政策の充実を  
図るほか、防犯、防災対策、ま  
た新旧市民が融合する自治振  
興対策、さら  
に地球温暖化に  
向けた環境施策  
の充実等にも力  
を注いでまい  
ります。

また、川口市との合併実現  
に向けましては、市政の改革  
を一層進めるとともに、市議  
会や昨年創設された「合併推  
進市民の会」の皆様と連携し、  
川口市側の状況を図りながら、  
適切な時期に合併申込みを行  
いたいと考えております。  
本年は、鳩ヶ谷市発展に向  
け、新たな一歩を踏み出す年  
であります。市民の皆様のご期待  
に添えるようより一層の市民  
サービスに努め、皆様が安心し  
て暮らしやすいまちづくりを  
誠心誠意努めてまいります。  
鳩ヶ谷市民の皆様のご健  
勝、ご多幸を心より祈念いた  
しまして、新年のご挨拶とい  
たします。

## 市民のための議会をめざして

市議会議長 野崎一則

礼を申し上げます。  
私も議長就任以来あつとい  
う間に1年余が経ちました。  
この間、鳩ヶ谷市では人口  
が6万人を突破、南鳩ヶ谷駅  
を新たな会場に  
加え盛大に行な  
われた鳩ヶ谷ま  
つり、そして昨  
年末には八幡木  
地区の皆様のご理解により懸  
案であった、し尿処理広域化  
に向け基本合意ができるなど  
その歴史に新たなページを記  
すことができました。

しかしながら、この歴史の  
歩みを止めず、さらに進める  
ためには行財政の改革が何よ  
り求められるところであり、  
市民の皆様のごさまざまな要求  
を踏まえ、この状況を打ち破り  
活路を見出していかなければ  
なりません。  
このためには、市議会議員  
の一人ひとりがそれぞれの立  
場と役割を自覚  
しその使命を果  
たすことが必要  
であり、市民の  
皆様の期待に応  
えるため議会改革委員会を設  
置し、協議を進めています。  
そしてこれまでに多くの先  
達が築き上げてこられた鳩ヶ  
谷市の有形・無形の財産を次

の世代に引き継いでいくため  
にも、これからの正念場を迎  
えてもう一踏ん張り、二踏ん  
張りをすることが与えられた  
責務であり、決意を新たに取  
り組んでまいります。  
そのことが、最大の課題で  
ある川口市との合併実現とい  
う新たな歴史に導いてくれる  
ものと信じて。  
最後になりましたが、本年  
が市民の皆様にとりまして、  
幸多き年となりますよう心か  
ら祈念いたしまして新年のご  
挨拶とさせていただきます。

谷市はまだ  
まだ厳しい現状ですが、なん  
に比べながら厳しい財政事情  
を改善することは決して容易  
なことではありません。  
このように鳩ヶ谷市はまだ  
まだ厳しい現状ですが、なん